

2017 第64期 Business Report 報告書

平成28年4月1日 ▶▶▶ 平成29年3月31日

GEOMATEC
create coating solutions

Contents

目次

株主の皆様へ	2
財務ハイライト	3
財務データ	5
財務指標	7
事業の経過及び成果	8
FOCUS	
車載分野への技術展開	9
GEOMATEC製品の歩み	11
株式の状況	13
会社概要	14

株主の皆様へ



代表取締役社長兼CEO 松崎 建太郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社グループの第64期株主通信をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国大統領選挙以降の急速な円安や政府による継続的な経済政策効果を背景に、企業収益や雇用・所得環境に改善の動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

今後のわが国経済は、新興国経済の成長鈍化や地政学的リスクの高まり、米国新政権の政策動向による影響が懸念されるなど先行き不透明な状況で推移していくものと予想されております。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末において秋以降に一部の製品で需要増加はあったものの、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は85億98百万円となりました。損益につきましては、第2四半期に実施した固定資産の減損処理により減価償却費が大幅に減少したことに加え、原価低減、発生費用の削減など経営全般にわたる効率化に取り組んだことから、営業利益は1億45百万円、経常利益は2億24百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、土地売却益として5億32百万円を特別利益に、また、固定資産の減損損失として30億31百万円を特別損失に計上したことから22億66百万円となりました。

このような状況のもと、当社グループは、当社の主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜について積極的な販売活動や、更なる品質の安定、生産性の向上に取り組み受注を確保するとともに、その他の薄膜製品についても拡販に努めてまいります。

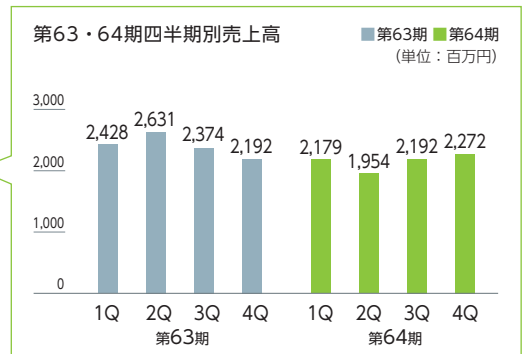
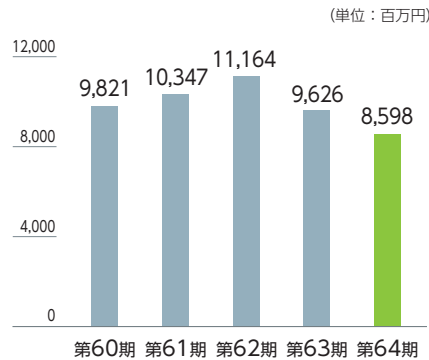
また、現在関与している市場・製品に加え、成膜技術を用いた新たな市場への展開、新たな製品開発に向けた施策の実行を推し進め、企業価値の向上に繋げていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

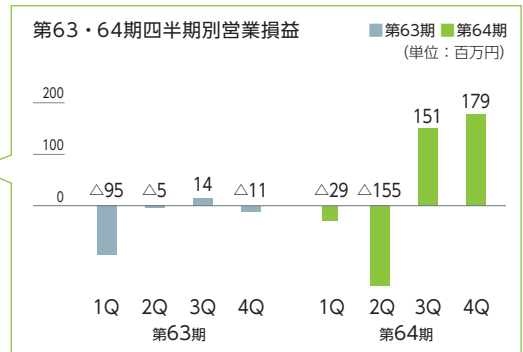
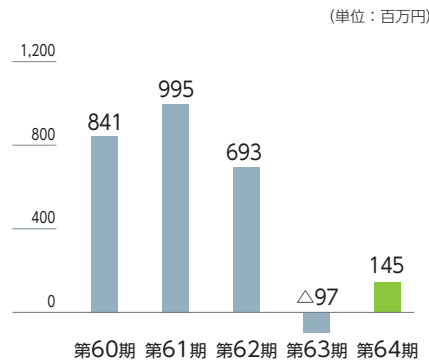
売上高

8,598百万円



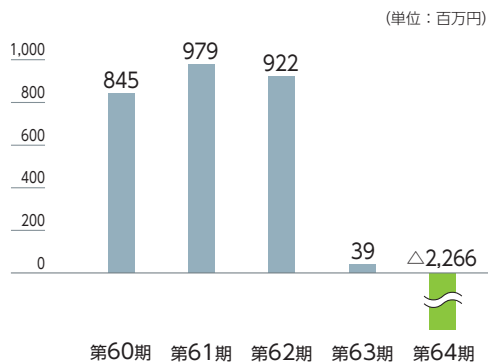
営業損益

145百万円



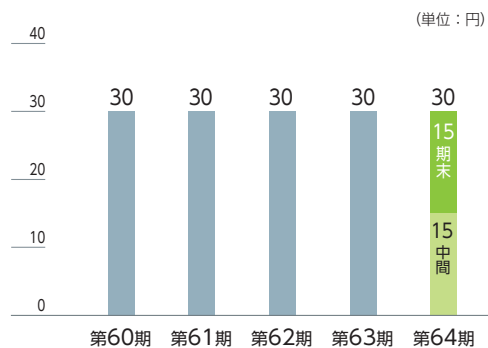
▶ 親会社株主に帰属する
当期純損益

△ 2,266 百万円



▶ 配当金

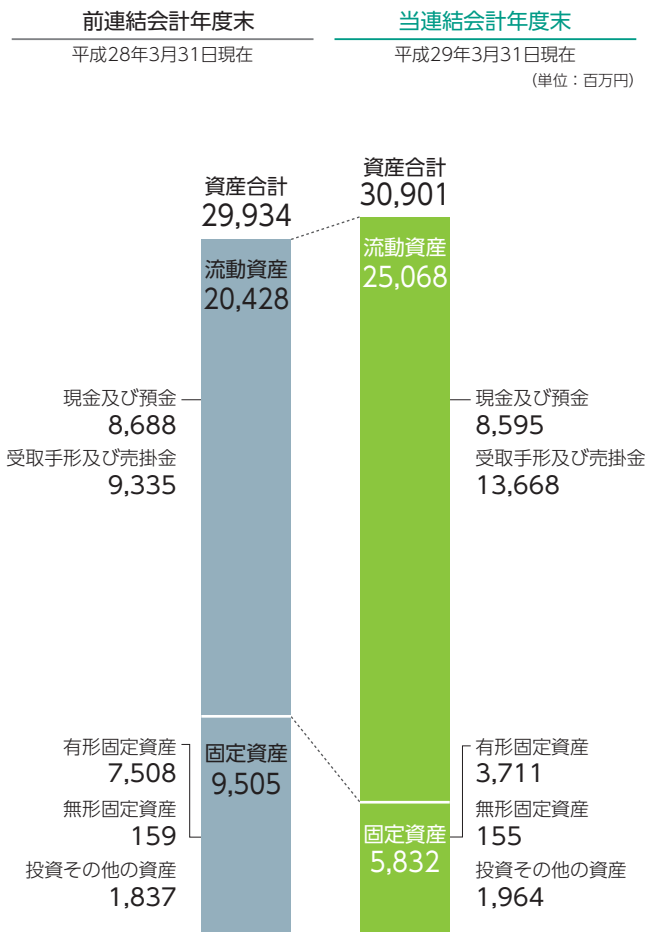
30 円



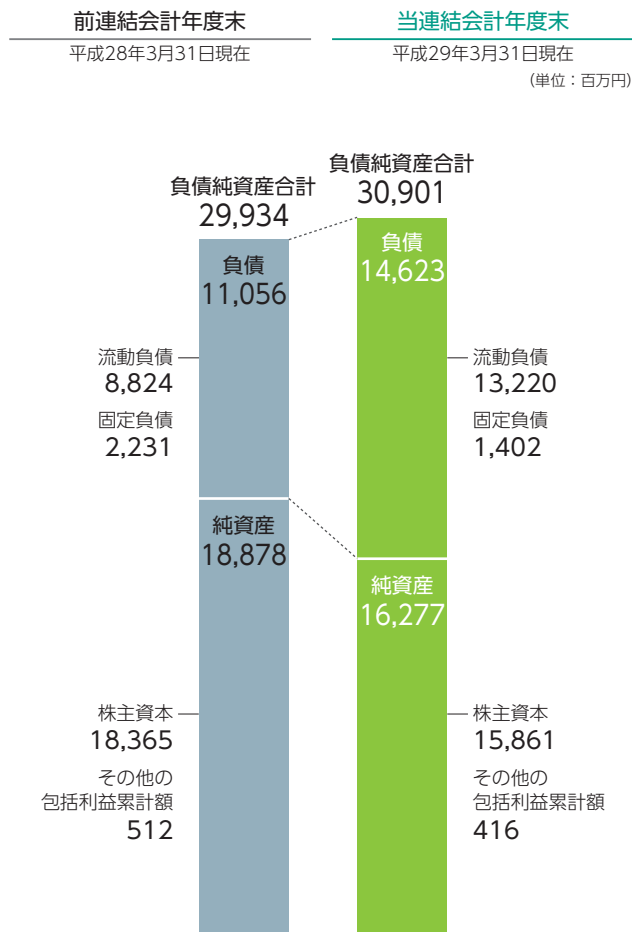
財務データ

連結貸借対照表

資産の部



負債の部



連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第63期	第64期
	H27.4.1~H28.3.31	H28.4.1~H29.3.31
売上高	9,626	8,598
売上原価	7,966	6,777
売上総利益	1,659	1,821
販売費及び一般管理費	1,757	1,675
営業利益又は営業損失(△)	△97	145
営業外収益	110	100
営業外費用	23	21
経常利益又は経常損失(△)	△11	224
特別利益	76	567
特別損失	15	3,042
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	49	△2,250
法人税、住民税及び事業税	10	16
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	39	△2,266

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第63期	第64期
	H27.4.1~H28.3.31	H28.4.1~H29.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	843	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,766	314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274	△1,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△78
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,247	153
現金及び現金同等物の期首残高	10,588	9,341
現金及び現金同等物の期末残高	9,341	9,495

連結株主資本等変動計算書

第64期(H28.4.1~H29.3.31)

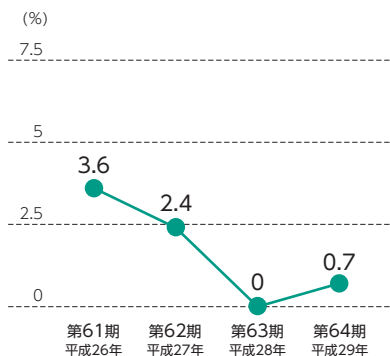
(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資剰余金	本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
平成28年4月1日 残高	4,043	8,297		7,335	△1,311	18,365	71	469	△27	512	18,878
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当				△237		△237					△237
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△2,266		△2,266					△2,266
自己株式の取得					△0	△0					△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)							39	△195	60	△96	△96
連結会計年度中の変動額合計	—	—		△2,503	△0	△2,503	39	△195	60	△96	△2,600
平成29年3月31日 残高	4,043	8,297		4,831	△1,311	15,861	110	273	32	416	16,277

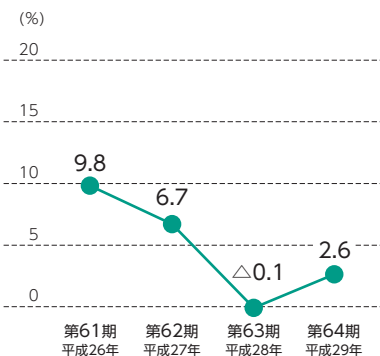
財務指標

収益性

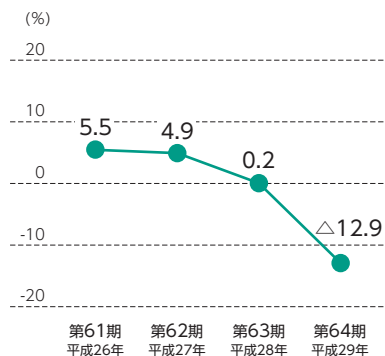
総資産経常利益率



売上高経常利益率

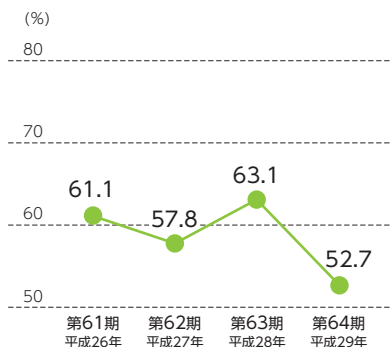


自己資本当期純利益率

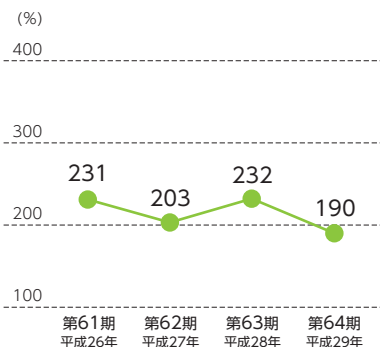


安全性

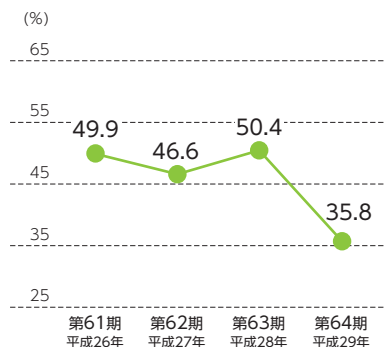
自己資本比率



流動比率



固定比率



■ 総資産経常利益率=経常利益÷総資産(注) ■ 売上高経常利益率=経常利益÷売上高 ■ 自己資本当期純利益率=親会社株主に帰属する当期純利益÷純資産(注)
 ■ 自己資本比率=純資産÷総資産 ■ 流動比率=流動資産÷流動負債 ■ 固定比率=固定資産÷純資産
 (注) 総資産・純資産につきましては期中平均で算出しております。

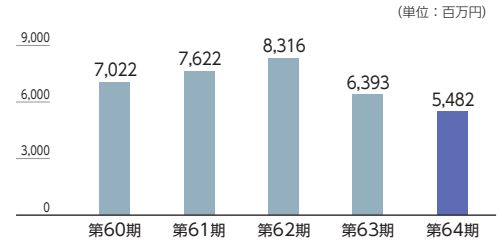
事業の経過及び成果

フラットパネルディスプレイ用基板

液晶パネル用帯電防止膜は、期後半にかけ米国メーカーのスマートフォン、タブレット端末向けで受注増加はあったものの、全体としては減少いたしました。タッチパネル用透明導電膜は、中国メーカーのスマートフォン向けは安定的に推移しましたが、タブレット端末向け、カーナビゲーション向けは減少いたしました。

この結果、売上高は54億82百万円(前期比14.3%減)となりました。

■フラットパネルディスプレイの売上高推移

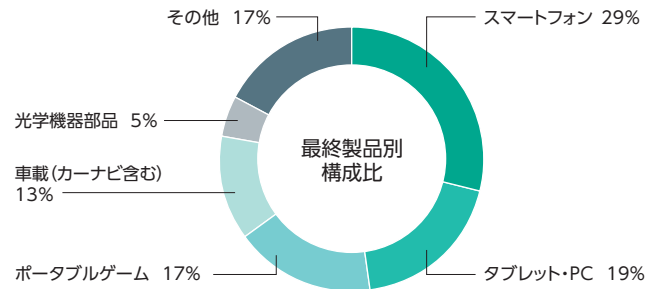
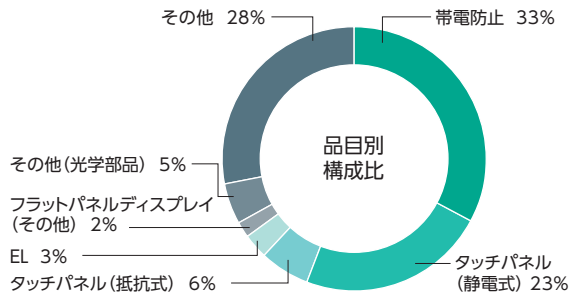
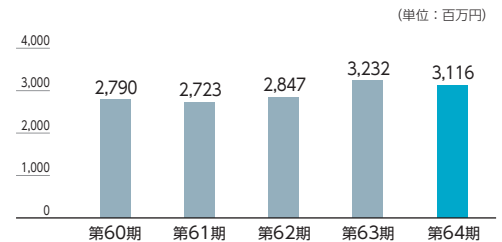


その他

その他につきましては、フラットパネルディスプレイ以外の製品・分野への展開を進めるべく、多種多様な製品・分野向けに薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は31億16百万円(前期比3.6%減)となりました。

■その他の売上高推移



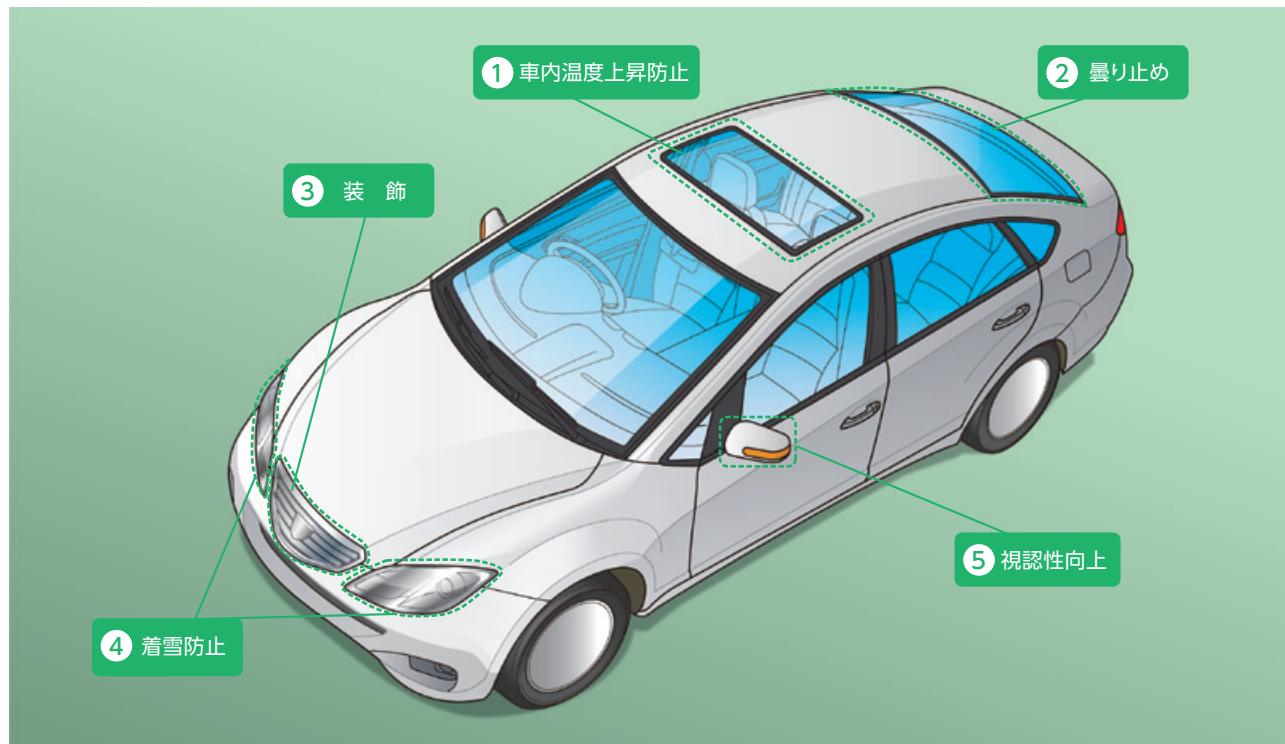
薄膜技術と自動車

当社は、車載分野を事業の成長領域と位置づけ、積極的に技術展開を図っております。

近年の自動車はめざましい技術の進歩と同時に、より一層の安全性と快適性が求め続けられております。

このような中、フラットパネルディスプレイ向けで培った当社の薄膜技術をさまざまな車載部品に展開していくことで、これからの自動車の発展に貢献してまいりたいと考えております。

ここでは、現在関与している部品と今後の技術展開が見込まれる部品の一例につきましてご紹介いたします。



技術展開

1 車内温度上昇防止 赤外線反射膜が熱線を反射することで、車内温度の上昇を防ぎエアコン効率を向上させます。

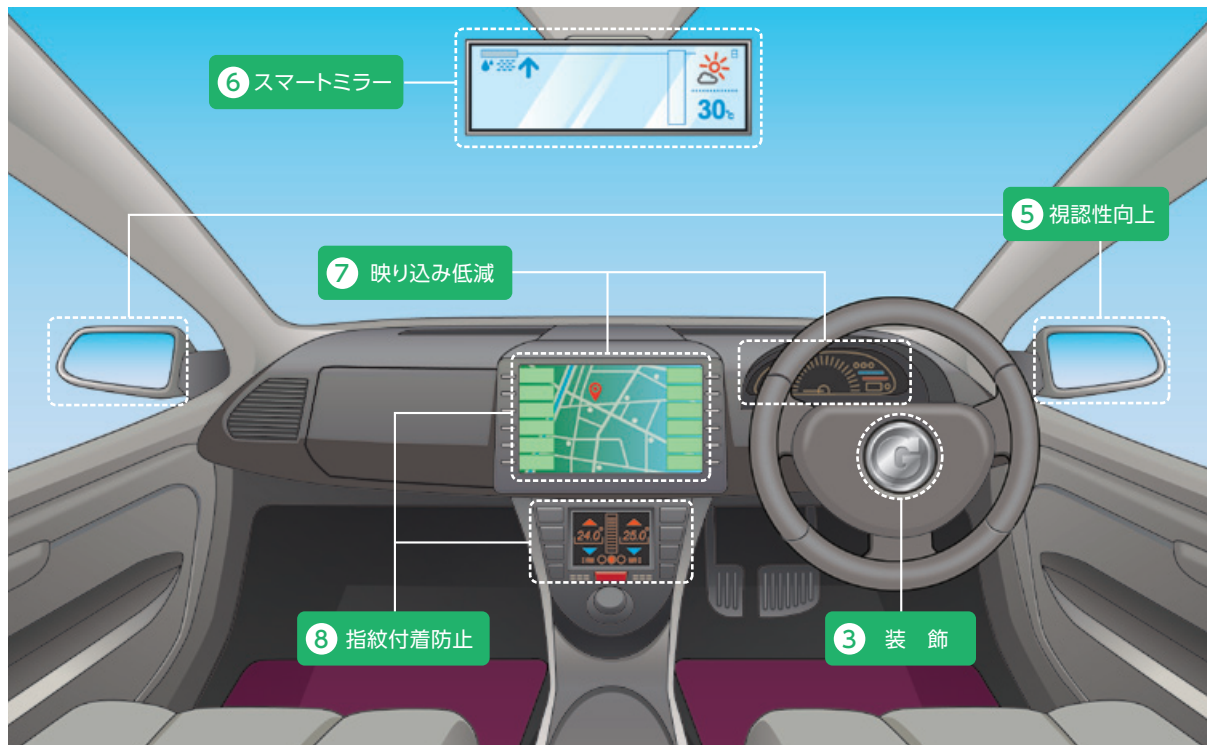
3 装飾 車の先端に搭載された車間距離レーダーの電波に影響しない金属膜による装飾が可能です。

2 曇り止め ガラスに施した透明導電膜を発熱させることで曇りを防ぎ、クリアな視界を保ちます。

4 着雪防止 ヘッドライトカバーに施した透明導電膜を発熱させることで着雪を防ぎ、降雪中も安定したヘッドライト照射を可能にします。

薄膜技術×自動車＝無限大

ディスプレイ分野で実績のある65年の薄膜技術で、自動車の未来に貢献します



5 視認性向上

親水膜は膜面の水滴をなじませ、撥水膜は膜面の水滴をはじくため、降雨中も良好な視界を維持します。

6 スマートミラー

ハーフミラーが、画面表示機能とバックミラー機能を両立させ、ルームミラーを情報表示機器として機能させます。

7 映り込み低減

反射防止膜が外光の映り込みを抑え、スピードメーターやカーナビ画面を見やすくします。

8 指紋付着防止

撥水膜が指紋の付着を防ぎ、汚れのない見やすい画面を維持します。

GEOMATEC製品の歩み

当社は、1953年の設立以来、一貫して「社会への光の応用」をテーマに、フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品などの中核要素を担う真空成膜技術に特化した受託加工メーカーとして企業活動に努めてまいりました。

- カメラ：アルミ表面鏡
- 玩具：アルミ表面鏡



- カメラ：ARコート・光学多層膜
- ルーペ：ARコート

- 二眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- 一眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- ラジオ：セラミックバリコン用銀電極膜
- マジックミラー：Tiハーフミラー
- 航空機：計器類カバーガラス用SnO₂電極膜
- 電子顕微鏡：内窓ガラス用SnO₂電極膜
- 信号機：カバーガラス用SnO₂電極膜（曇り止め用）
- 天体望遠鏡：アルミ表面鏡
- 潜水艦：潜望鏡カバーガラス用SnO₂電極膜

- 液晶腕時計：In₂O₃→ITO膜
- 複写機：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡



- 簡易印刷機：その他金属膜
- 装飾用照明：グラリエントフィルター
- 液晶電卓：In₂O₃→ITO膜
- 船舶：レーダー用ダイクロイックフィルター
- 時計用着色カバーガラス：TiO₂、Cr₂O₃等使用
- テレビ：コントラスト調整用ウェッジフィルター
- 液晶置時計：ITO膜

- リアプロジェクションTV：アルミ表面鏡
- 交換レンズ：銀表面鏡・アルミ高反射鏡
- ステッパー：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡
- オートレフ：コールドミラー
- ラップトップ型ワープロ：ITO膜



- ビデオカメラ：IRカットフィルター
- 複写機：原稿台カバーガラス用ITO膜
- 光パワーメーター：ステップフィルター
- 扁平ブラウン管TV：蛍光体へのSiO₂コート

1950年代

- サングラス：Crハーフミラー
- 自動車：バックミラー用Cr反射鏡
- 航空機：翼端灯用銀反射鏡
- OHP：アルミ表面鏡
- 双眼鏡：ARコート
- 自動車：ルームミラー用Cr反射鏡

1960年代

- 投影機：アルミ表面鏡
- レントゲン装置：アルミ表面鏡
- ジアゾ式複写機：アルミ表面鏡



- 一眼レフカメラ：銀表面鏡

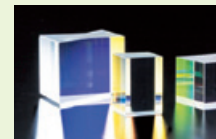
1970年代

- 家電製品：ITO膜
- 事務機器：ITO膜
- 太陽電池：ITO膜
- リアプロジェクションTV：青ダイクロイックミラー
- 歯科医用照明：コールドミラー・フィルター
- ビデオカメラ：ローパスフィルター
- LDプレーヤー：ARコートレーザーミラー



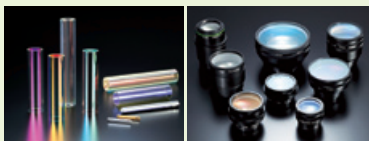
1980年代

- CDプレーヤー：ARコート・レーザーミラー
- 液晶プロジェクター：ダイクロイックミラー・フィルターARコート



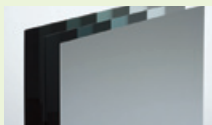
- ラップトップ型パソコン：ITO膜
- レーザープリンター：アルミ高反射鏡
- 複写機：IRカットフィルター
- 液晶テレビ：ITO膜

- ラボ用プリンター：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート
- PDA：ITO膜
- 液晶モニター付きビデオカメラ：ITO膜
- レーザーマーカ―：ARコート

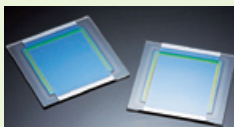


- ATM/CD：タッチパネル用ITO膜

- 液晶テレビ・パソコン：ITO膜
- カラー携帯電話：
ITO膜・金属膜



- 全固体型薄膜リチウムイオン二次電池



- 光通信：ARコート・フィルター
- DMDプロジェクター：
ダイクロイックミラー・ARコート・セラミックコート



- 液晶リアプロジェクションTV：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート
- モバイル機器：有機EL用ITO膜
- ポータブルオーディオ：有機EL用ITO膜
- 静電容量方式タッチパネル用ITO膜・金属膜
- LCD用帯電防止膜
- 有機太陽電池用TCO膜
- クリアヒート®:ITO膜(東邦シートフレーム株式会社共同開発品)

- 静電容量方式タッチパネル：
フィルム用ITO膜・金属膜
- ロール to ロール成膜
- 照明：有機EL用ITO膜・金属膜
- マスクブランクス用遮光膜
- 薄膜熱電対
- 円筒内部成膜
- IoT向けセンサー
- ドームヒーター



1990年代

2000年代

2010年～

GEOMATECの技術はさまざまな分野で活躍しております

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話、デジタルカメラを代表に、毎日の暮らしのごく身近なところに当社の成膜技術が活かされています。それは、真空成膜技術に特化した受託加工メーカーならではのものです。



- 携帯電話
- スマートフォン
- タブレット端末



- 一眼レフカメラ
- プロジェクター
- デジタルカメラ



- カーナビ
- 電車(窓)
- 信号機
- 魚群探知機
- ETC



- 建材用途
- 住宅設備

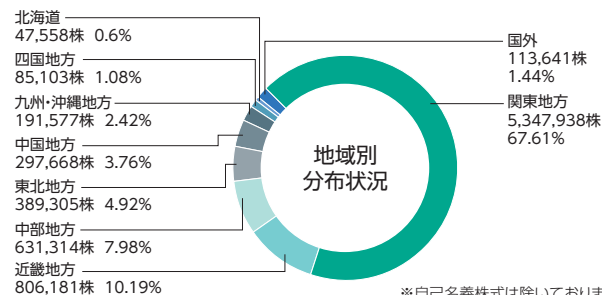
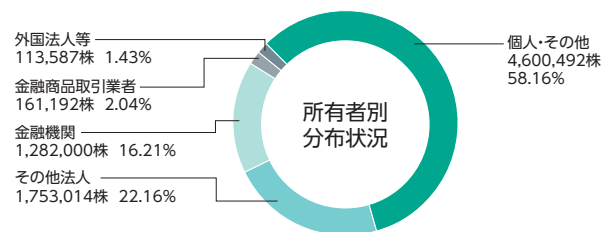
株式の状況 (H29.3.31現在)

発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式総数	9,152,400株
株主総数	4,690名 (前期末比117名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社松崎興産	1,389,800	17.50
松崎建太郎	426,600	5.30
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	394,800	4.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.80
ジオマテック従業員持株会	176,580	2.20
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.90
個人株主	107,100	1.30
第一生命保険株式会社	105,000	1.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	83,700	1.00
株式会社アイ・アンド・イー	80,400	1.00

※自己名義株式は除いております。



※自己名義株式は除いております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告(<http://www.geomatec.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

会社概要 (H29.3.31現在)

商号	ジオマテック株式会社 GEOMATEC CO., LTD.
設立	昭和28年9月
資本金	40億4,385万円
従業員数	606名(連結) 453名(単体)
本社所在地	〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735 E-mail:geomatec@geomatec.co.jp
事業内容	フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製造及び販売他
主な販売先	シチズン電子(株)、シャープ(株)、 (株)ジャパンディスプレイ、 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、 日電東工(株)、パナソニック液晶ディスプレイ(株)、 山形カシオ(株) など (五十音順)

取締役、監査等委員及び執行役員 (H29.6.29現在)

代表取締役社長兼CEO	松崎建太郎
取締役執行役員兼CMO	鈴木忠春
取締役執行役員兼CTO	菅原浩幸
取締役執行役員兼CFO	河野淳吉
監査等委員である取締役	高橋幸吉
監査等委員である取締役	澤口学※
監査等委員である取締役	寺西尚人※
執行役員	松本作太
執行役員	武田明
執行役員	菅原英喜
執行役員	千葉浩之
執行役員	氏家光宏
執行役員	佐々木康行

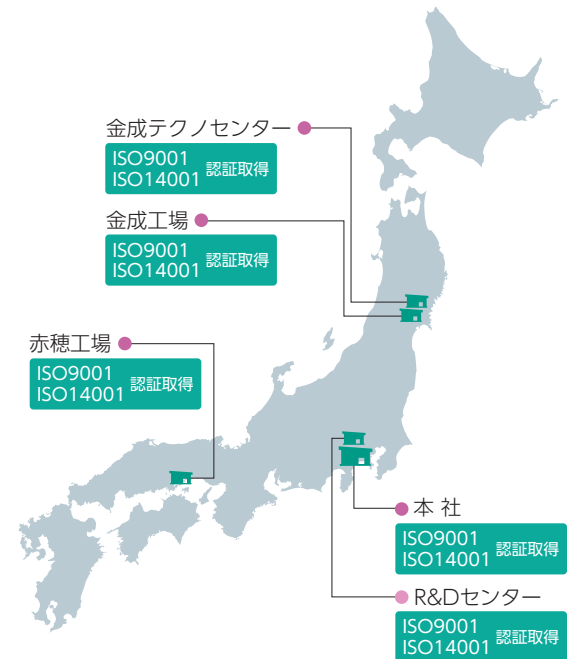
※ 澤口学及び寺西尚人の2名は社外取締役であります。

ネットワーク

R&Dセンター	〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目13番7号
金成テクノセンター	〒989-5184 宮城県栗原市金成小迫金沼9番地
金成工場	〒989-5164 宮城県栗原市金成金生51番地
赤穂工場	〒678-0165 兵庫県赤穂市木津稻荷山1325番80

吉奥馬科技(無錫)有限公司

中華人民共和国江蘇省無錫市無錫国家高新技术産業開發区B18-C地塊



当社ホームページでは、成膜技術に関する情報や加工製品、IR情報などがご覧いただけます。



<http://www.geomatec.co.jp/>

ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCOは
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相談)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。